

暮らしに役立つ情報満載！

FP FPの家

住まいる ニュース

2025 7 vol.176

今の特集

キッチンを中心とした 住まいづくり

家族の笑顔が集まるキッチンは、現代住宅の心臓部です。
単なる調理空間から家族のコミュニケーションハブへと進化
したキッチン空間を中心に、家族それぞれの暮らし方を大切
にした住まいづくりが注目されています。

家族をつなぐ オープンキッチン空間

現代のキッチンは、家族が自然に集まるコミュニケーションの拠点として大きく変化しています。オープンキッチンにより、料理をしながら家族との会話を楽しみ、子どもたちの様子を見守ることができる開放的な空間設計が求められています。ダイニングやリビングと一体化したレイアウトは、家族の絆を深める重要な役割を果たしています。

キッチンを中心とした間取りでは、家事動線の効率化も重要なポイントです。キッチンから洗面室、パントリー、ダイニングへの移動がスムーズになるよう設計することで、日々の家事負担を大幅に軽減できます。また、カウンターキッチンなら子どもの宿題を見ながら料理ができ、アイランドキッチンなら家族みんなで調理を楽しむことも可能です。

収納計画も現代キッチンの重要な要素です。パントリーや背面収納、吊り戸棚を効果的に配置することで、調理器具や食材をすっきりと整理でき、美しいキッチン空間を維持できます。

さらに、ゴミ箱や家電の配置を考慮した設計により、見た目の美しさと機能性を両立させることができます。

近年では、テレワークの普及により、キッチンカウンターを書斎スペースとして活用する家庭も増えています。料理の合間にパソコン作業を行ったり、子どものオンライン授業をサポートしたりと、キッチンの多機能化が進んでいます。

また、来客時にはキッチンカウンターがバーカウンターとして機能し、ホームパーティーの中心的な役割を果たすこともあります。照明計画においても、作業に適した明るさと食事やくつろぎの時間に適した演出照明を使い分けることで、時間帯に応じた雰囲気づくりが可能になります。

このように多機能化が進むキッチン空間では、一年を通じて快適な温度環境を維持することが重要な課題となります。快適なキッチン環境の実現には、住宅全体の性能が重要な要素となります。



「FPの家」が実現する 理想のキッチン環境

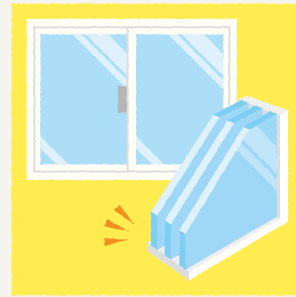
高断熱・高気密の住宅「FPの家」なら、キッチンを中心とした理想の住環境を実現できます。

独自のFPウレタン断熱パネルによる高い断熱性能が外気温をシャットアウトするため、猛暑日でもキッチンでの調理作業が快適に行えます。さらに、優れた気密性能により、調理時の臭いを室内に残すことなく排出します。

また、「FPの家」は注文住宅としての柔軟性により、家族のライフスタイルに合わせたキッチンレイアウトを自由に設計可能です。高性能な住宅性能と設計自由度が融合した「FPの家」だからこそ、真に家族が喜ぶキッチン中心の住まいづくりが実現します。

住まいの知恵袋

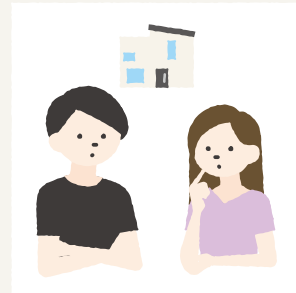
複層ガラス



2枚以上のガラスの間に乾燥空気やアルゴンガスなどを封入した複層ガラス。ペアガラス（2層）は従来の単板ガラスと比較して断熱性能が大幅に向上。トリプルガラス（3層）はさらに高い断熱効果を発揮し、寒冷地で特に威力を発揮します。ガラス間の空気層が熱の伝導を遮断し、室内外の温度差による熱移動を大幅に抑制します。これにより冷暖房効率が向上し、光熱費の削減効果が期待できます。また、結露の発生を抑制し、防音効果も期待できます。近年はLow-E膜をコーティングしたタイプも普及し、遮熱性能もプラス。初期費用は高くなりますが、長期的な省エネ効果と快適性向上により、住宅の付加価値を高める重要な設備として注目されています。

お金の豆知識

住宅購入後にかかる費用

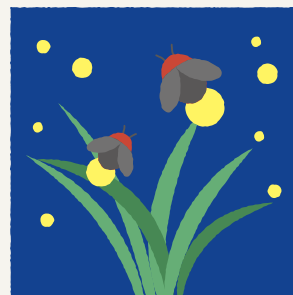


住宅購入後は住宅ローン返済以外に、固定資産税・都市計画税、火災保険・地震保険料が毎年必要です。戸建ては外壁塗装や屋根修理、給湯器交換などメンテナンス費用が10～15年周期で発生し、庭の手入れや設備の点検費用のほか、住宅ローンの金利変動リスクも考慮した長期的な資金計画が重要です。

暮らしの1ポイント

ホタル

蛍は夜行性の昆虫で、お尻の発光器でルシフェリンという物質とルシフェラーゼ酵素が反応して発光します。この光は熱をほとんど発生させない冷光で、雄雌で異なる発光パターンによって交尾相手を見つけます。日本には約50種が生息し、ゲンジボタルとヘイケボタルが代表的です。清流環境の指標とされる貴重な昆虫です。



できた！簡単DIY

保冷剤を使った首巻きクーラー



暑い夏の熱中症対策として、どのご家庭にもある材料で本格的な首巻きクーラーを手作りしてみましょう。首の両側にある太い血管を冷やすことで、全身の体温を効率的に下げることができますよ。材料は、薄手のタオルまたは手ぬぐい1枚と、小さな保冷剤2～3個です。作り方は、タオルを横半分に折り、保冷剤が入る幅で縦に縫い合わせてポケットを複数作ります。両端は紐やマジックテープを縫い付けて首に巻けるようにしましょう。冷凍庫で凍らせた保冷剤をポケットに入れ、使用時間は15～20分程度が目安です。縫製することで保冷剤がずれにくく、長時間の使用でも快適です。外出時やスポーツ、作業時に重宝し、洗濯も可能で衛生的に繰り返し使えますよ。

おしえて！Dr.住まいる

エアコンのメンテナンス

電源を切ってからフィルターを取り外し、水洗いで汚れを落とします。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用しましょう。また、室外機周辺の障害物除去や吹き出し口の拭き掃除も欠かせません。こうした定期的なメンテナンスにより冷暖房効率が向上し、電気代節約と故障予防につながり、快適な室内環境を保つことが出来ます。

